

「考え、議論する道徳」の授業に向けた発問例

気付く

<道徳的価値への動機付け 教材への方向付け>

- ・～とはどのようなことだと考えていますか。
- ・～したこと（できなかったこと）はありますか。※自己を見つめる段階の発問と重ならないこと
- ・アンケート結果では、〇〇という考えが出ていました。
- ・〇〇という人が出てきます ・～の時代（人物）について説明します。

深める

<教材を通して 道徳的価値に迫る>

○基本発問 ◎中心となる発問

（教材の話の流れを確かめながら）

- ・このときの（登場人物）はどのようなことを思っていたのでしょうか。
- ・（登場人物）はなぜこのようなことをしたのでしょうか。

【留意点】

- ・教材の中だけの話に終わらないようにする。
- ・「この時（登場人物）は何と言いましたか。」「この後どうなりましたか。」など、教材に書かれている内容を聞くことに終始しない。⇒ 国語の読み取り

つかむ

<道徳的価値を捉える>

■道徳的価値を理解する発問

【教材に登場する人物に関わらせて考える】

- ・（登場人物）にどのようなことを言ってあげたいですか。
- ・（登場人物）に手紙を書いてみましょう。
- ・（登場人物）は、改めてどんなことに気付いていったのでしょうか。

【道徳的価値に正対して考える】

- ・この話は、私たちにどのようなことに気付いてほしいと願っているのでしょうか。
- ・（道徳的価値）とはどういうことでしょうか。
- ・（道徳的価値）はなぜ大切なのでしょうか。
- ・（道徳的価値）についてどのような考えをもつことが大切なのでしょうか。
- ・（道徳的価値）を実現するためにどのように行動していくことが大切なのでしょうか。

<道徳的価値に迫る発問>

○基本発問…教材の中で登場人物の心情や動機を問う発問

◎中心発問…基本発問の中で最も重要な発問

<道徳的価値を捉える発問>

■道徳的価値を理解する発問

道徳的価値の意味や大切さを捉える発問

<自己を見つめる発問>

□これまでの経験やそのとき考えたこと感じたことを問う発問

<その他の発問>

補助発問…基本発問を補助する発問

繰り返しの発問…考えの深まりを促す発問

子供の反応が主題と関連する道徳的価値から拡散することを予想しておく。全て肯定的に受け止めねらいとする道徳的価値に誘導することのないよう留意する。

見つめる

<自己を見つめる>

□自己を見つめる発問

【自己を振り返る】

- ・これまで、〇〇についてどのようでしたか。

【自己を振り返り、生き方を考える】

- ・自分を振り返ってみて、生き方の課題をどのように考えますか。

【中学校の場合】

- ①自分はどのような行動をとってきたか。
- ②自分にはどのような課題があるか。
- ③今まで、〇〇についてどのように考えてきたか。
- ④どのような人間であったか。
- ⑤大切であることが分かっているにもかかわらず実行できない自分であったのは、自分のどのようなところに原因があるのか。

あたためる

<思いを整理し、意識を高める>

- ・教師が経験したことを聞いてください。
- ・自分を振り返って考えたことまとめましょう。